

校長室だより



豊川市立東部小学校

令和4年11月15日

学習発表会 ～3年ぶりの保護者参観～

11月12日(土)、各家庭2名以内の制限をつけながらではありますが、保護者の皆様をお招きし、学習発表会を実施しました。はじめに音楽部による発表を行いました。音楽が好きな子たちが集まり、9月から練習をしてきました。曲に乗って楽しそうに歌う姿が印象的でした。その後、それぞれに趣向を凝らした各学年の発表があり、子どもたちは力いっぱい発表していました。この発表会を通して、全校の子どもたちが大きく成長する姿を見ることができました。地域の皆様にもぜひご覧いただきたいかったと強く思いました。特に3年生は、東部小学校の60年間の歩みとして、卒業生の皆様から聞き取った内容を発表しました。卒業生の皆様にご覧いただければ、小学校時代を懐かしんでいただけたことでしょう。



1年「うたっておどって、サラダでげんき」



2年「東部小天国」(音楽発表)



3年「わたしたちの東部小」(60年の歩み)



4年「未来へ」～リメンバー・ミー～



5年「森林とのかかわり」(野活での学び)



6年「東部小の幸福論」～10年後の未来へと～

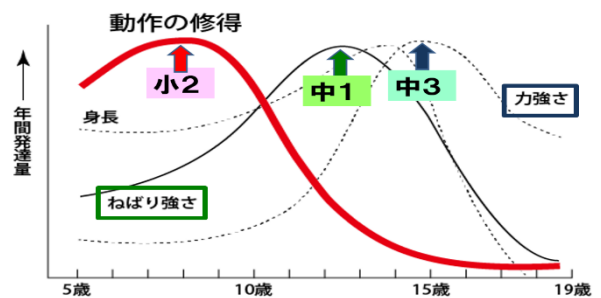
【にこにこ集会 校長講話から】

「今やるべきことを力いっぱい」

(前略)ゴールドエイジとは、長い人生の中で、とっても大事な年齢のことです。それが、小学生の今なんです。(グラフを示して)この線は、「動きのうまさ」がどの時期によく伸びるのかを表しています。運動神経がよくなる時期ということです。・・・それに対して、大人は初めてやることに対しては手本を見ただけではできないことが多いんです。大人はまず考えてから動きます。それが、運動神経が身につくやすい子どもとの違いです。



・・・他のことについても、時期を逃すと身につかなくなってしまうことはたくさんあります。かけ算の九九を2年生で勉強するのも、この時期が一番覚えやすい時期だからということがあるかも知れません。勉強や運動、学習発表会の練習など、今やるべきことに力いっぱい取り組むことで、その時期に身につけるべき大事なことが身につくこととなります。・・・できないことに力いっぱいチャレンジするためには、周りの子どもたちが温かい気持ちで見守ってくれたり、応援してくれたりすることが大事です。・・・



ある朝のこと ～心温かな女の子～

10月のある朝、登校してくる子どもたちと「おはようございます」とあいさつを交わしていると、ある5年生の女の子が話しかけてくれました。

女の子：校長先生、髪切りましたか？ 校長：うん、切ったよ。でも1週間くらい前かな？

女の子：気がつかなくてごめんなさい。 校長：最近忙しくて、あんまり顔を見せてなかったかもね？

この会話を終えた後、とても幸せな気持ちになりました。児童からすると少し遠い関係にある校長をととても気にかけていることを知ったことや、やりとりの言葉と表情がやわらかくて、温かな気持ちが伝わってきたことが、その理由なのだと思います。

今目指している「あったかい学校」の一つの姿を見たように思いました。

